

第五十四回句会 俳句

【高点句】

- ☆車椅子泰然として卒業す 〈青蛙〉
☆落椿古地図にありし武家屋敷 〈郁代〉
☆桜餅そろりと並べ老店主 〈郁代〉

【各自一句】

- ・職人の笑ひは絶へぬ春火鉢 〈莫院〉
・墨堤に匂いかぐわし桜餅 〈伸子〉
・旅立ちの涙よ笑みよ桜餅 〈安津子〉
・お地藏の笑みこぼれたる桜餅 〈撫子〉
・神妙に正座の兄や雛祭 〈郁代〉
・眼の先の枝にもつれて鳥交る 〈一馬〉
・鈴鳴らす幼の靴に春日射す 〈眞澄〉
・ビル群を従へ土筆風に立つ 〈一衣〉
・陽だまりをひとり占めして寒桜 〈童心〉
・桜餅気鬱の母に笑み戻り 〈緑〉
・食らうべき悩みて桜餅の葉か 〈隆司〉
・風光る緊張顔の紺スーツ 〈雄記〉
・東西の違いも床し桜餅 〈青蛙〉
・ビストロの旗へ春の日春の風 〈明美〉
★選句終えほつと一皿桜餅 〈句会にて一同〉

*以上、40(3句ずつ13と1句1名)より、選句は16名により4句ずつ

*高点句は、高得点の句より3句(今回は第2位が同点で2句)

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による(得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載)十句会での一句